

令和3年度東日本大震災アーカイブシンポジウム

－震災記録を残す、伝える、活かす－

日時：令和4年1月10日（月曜・祝日） 午後1時から4時まで

開催方法：会場80名、Zoomによるオンライン200名

主催：東北大学災害科学国際研究所、国立国会図書館

1:00 オープニング

開会の挨拶と趣旨説明

東北大学災害科学国際研究所所長 今村 文彦

1:05 事例報告

“体験を同期する”というアーカイブの使い方”

3.11 オモイデアーカイブ代表 佐藤 正実氏

伝承活動から見たアーカイブ活用の現状と課題

3.11 メモリアルネットワーク代表（宮城教育大学特任教授） 武田 真一氏

震災の記憶をどう受け継ぐか－2014年神城断層地震震災アーカイブの取組み

信州大学学術研究院教育学系・教授 廣内 大助氏

みんなで作り、活用するプラットフォーム「災害アーカイブぎふ」プロジェクト

岐阜大学流域圏科学研究センター准教授 小山 真紀氏

2:10 進捗報告

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）の取組について

国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透

震災アーカイブの利活用について

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

2:45 （10分休憩）

2:55 パネルディスカッション

震災記録を残す、伝える、活かす－震災アーカイブの利活用促進に向けて－

登壇者6名

3:58 クロージング

閉会の挨拶

国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透